

ネイチャーポジティブ 那須野が原アライアンス

Nature-**P**ositive **N**asunogahara **A**lliance

N P N A

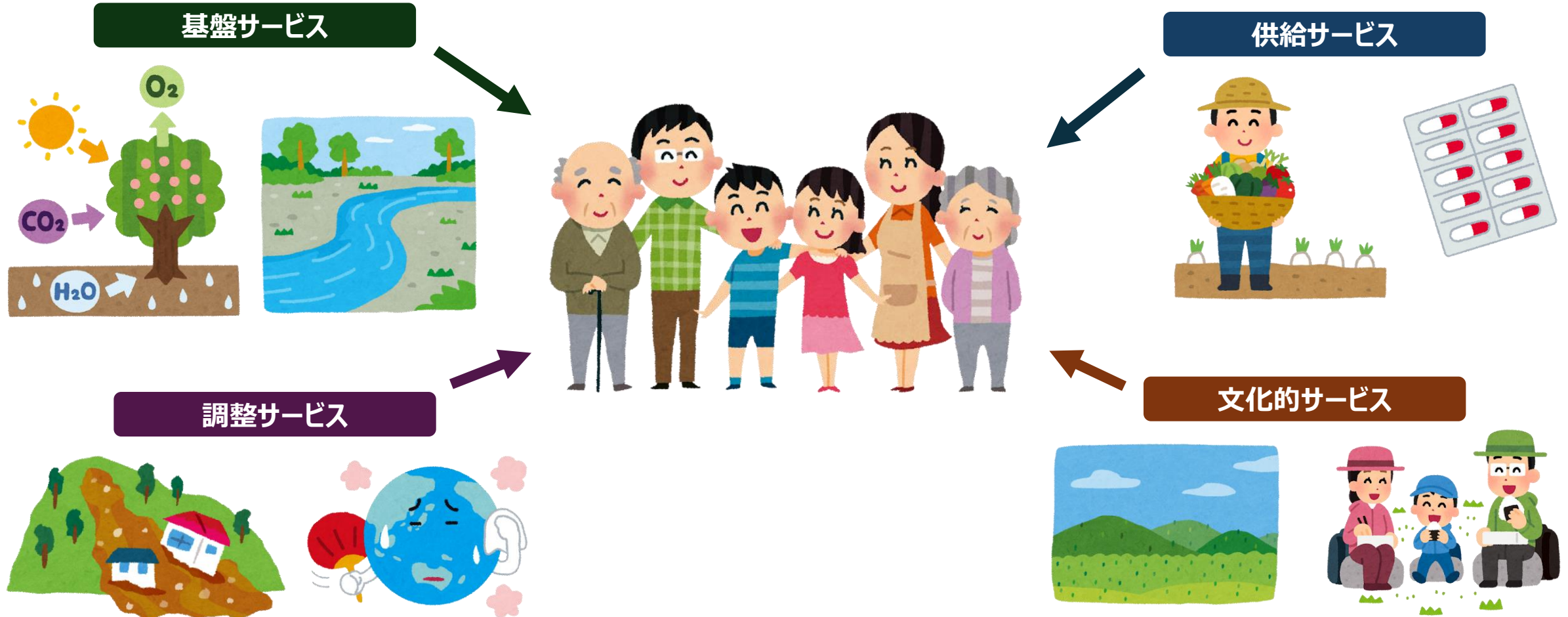
令和 7 (2025) 年 3 月
那須塩原市

「現状」と「目指すべき姿」

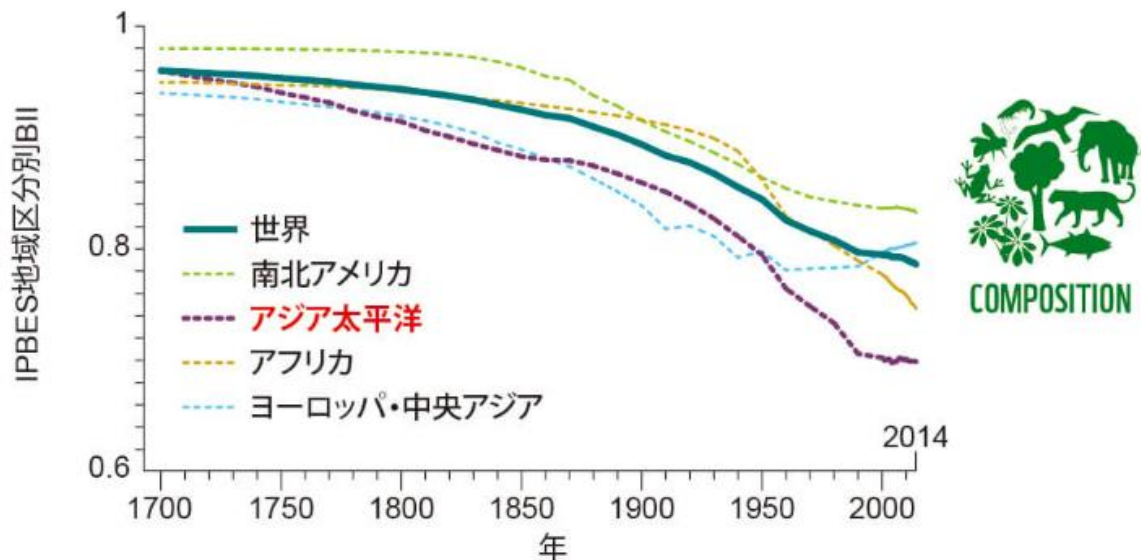
生物多様性が我々にもたらす「生態系サービス」



我々の暮らしは、生物多様性からの様々な恵み「生態系サービス」に支えられています。



生物多様性の損失がもたらす危機



生物多様性が残されている割合を示す「生物多様性完全度指数」

出典：WWFジャパン ホームページ



出典：WWFジャパン ホームページ (WHO, CBD, 2015)

生物多様性の損失

- ➡生態系が劣化
- ➡農業資源、観光資源などが減少
- 災害や汚染の被害が増加
- 未知の課題発生の不安
(自然の摂理が壊れることで想定外のことが発生)

我々の日常生活にも危機がせまっています！

(例) ミツバチの減少

花粉媒介者であるミツバチが減少すると、その周辺の植物の生態系が壊れる（農作物が育たなくなる、など）といわれています。

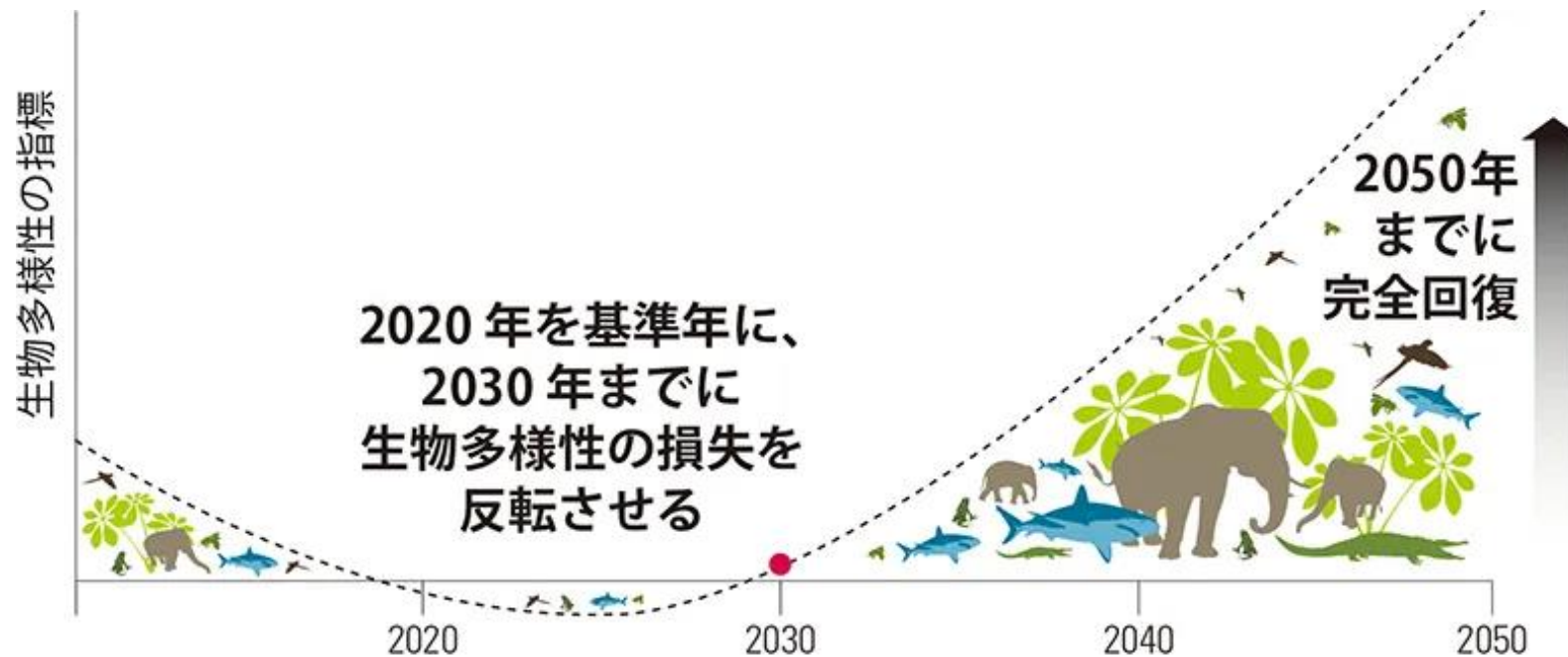
ネイチャーポジティブ？



ネイチャーポジティブとは…

自然を回復軌道に乗せるため、**生物多様性の損失を止め、反転させること**

2030年までにネイチャーポジティブを達成するために、個人・団体・企業、行政などを問わず、様々な主体が連携して取り組んでいく必要がある。



2030年までのネイチャー・ポジティブに向けた自然のための測定可能な世界目標
出典：naturepositive.org（日本語訳はWWFジャパン）

生物多様性の劣化



平成17（2005）年 7月



令和5（2023）年 7月



沼ッ原湿原におけるニッコウキスゲの植生状況の変化

生物多様性の劣化



平成21（2009）年 7月



令和5（2023）年 7月



大沼園地におけるエゾミソハギの植生状況の変化

生物多様性の劣化



平成30（2018）年 9月

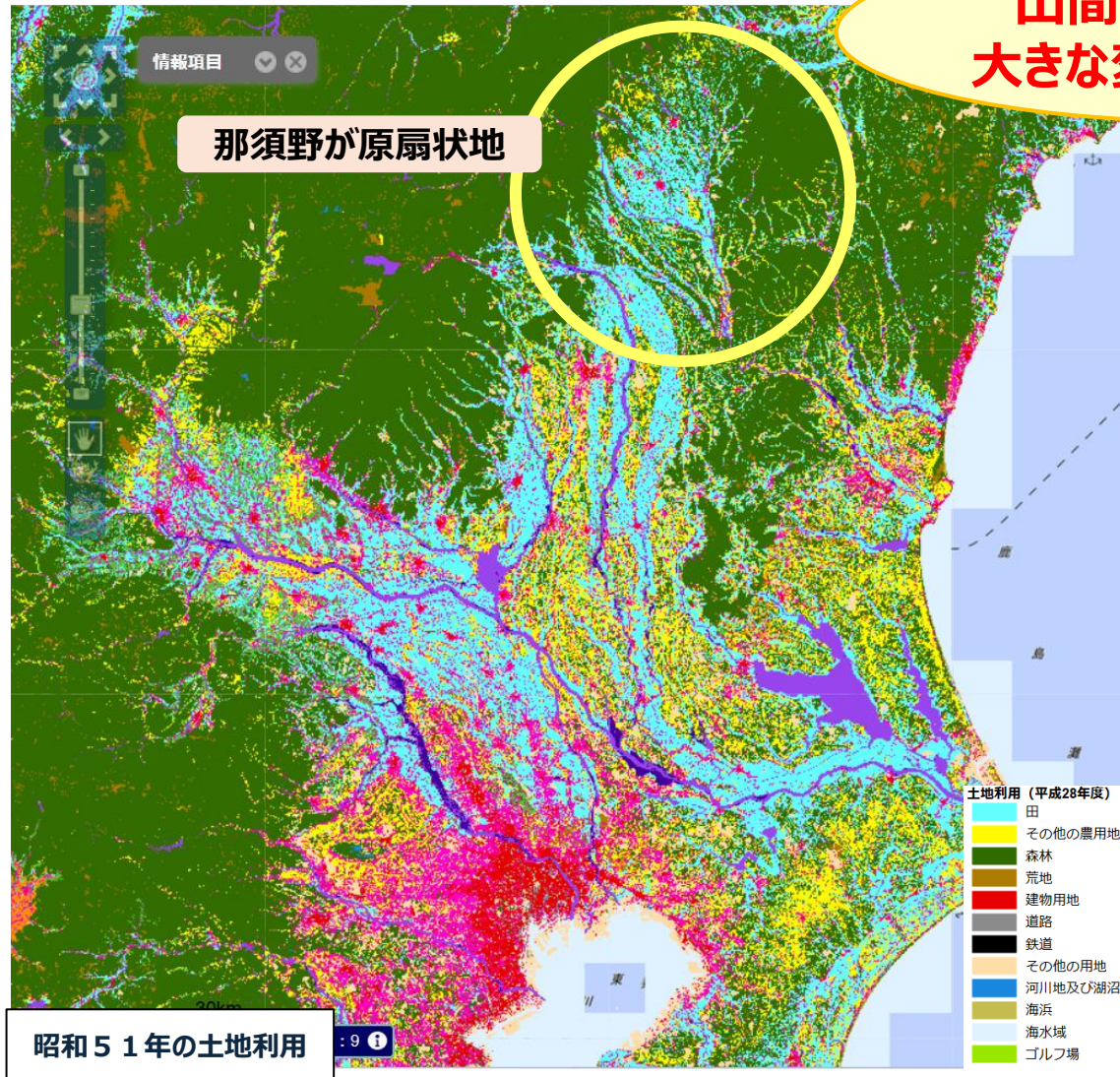


令和5（2023）年 7月

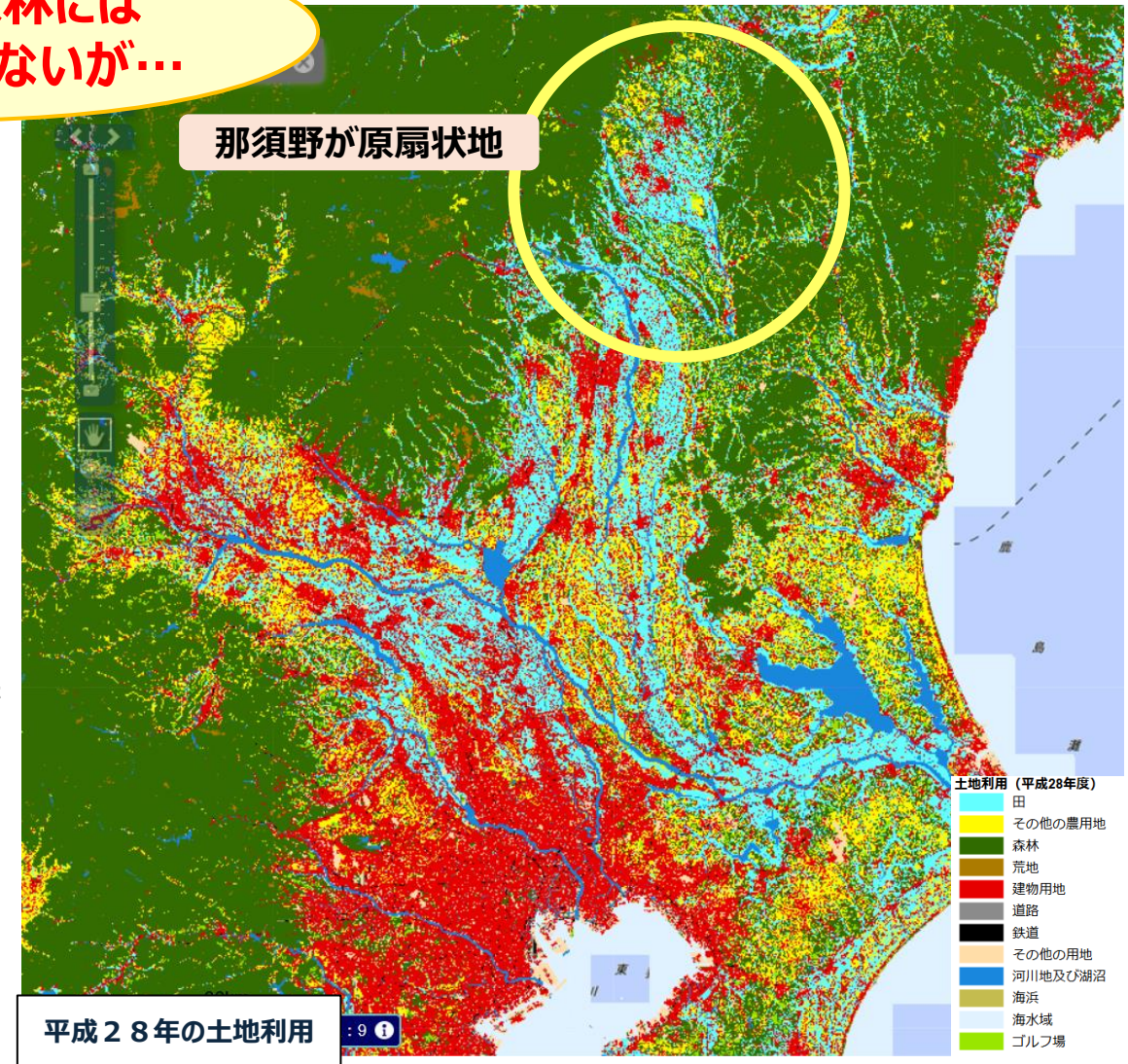


大沼園地散策路 林床のササの変化

土地利用状況の推移（関東全域）



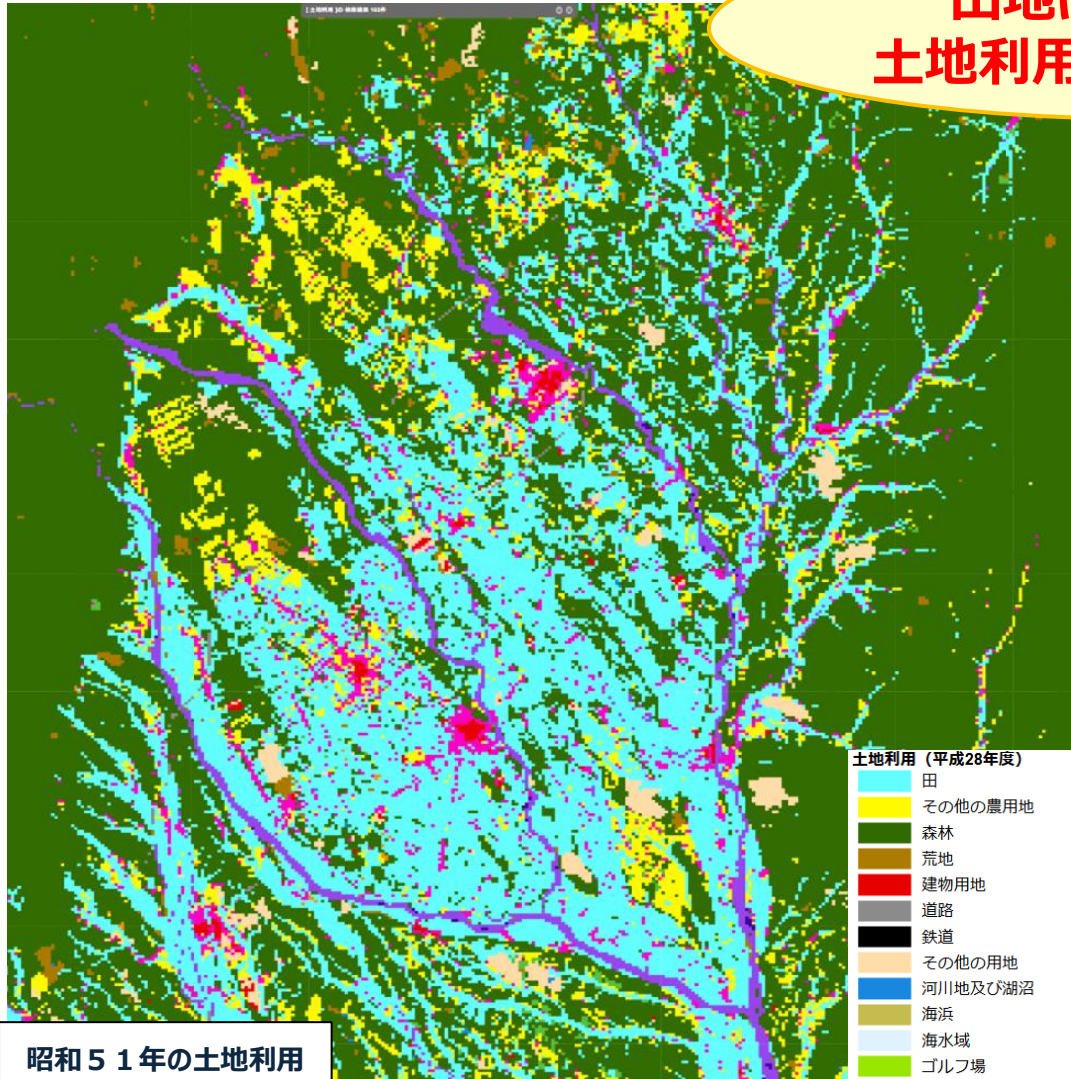
40年で



土地利用状況の推移（那須野が原扇状地）

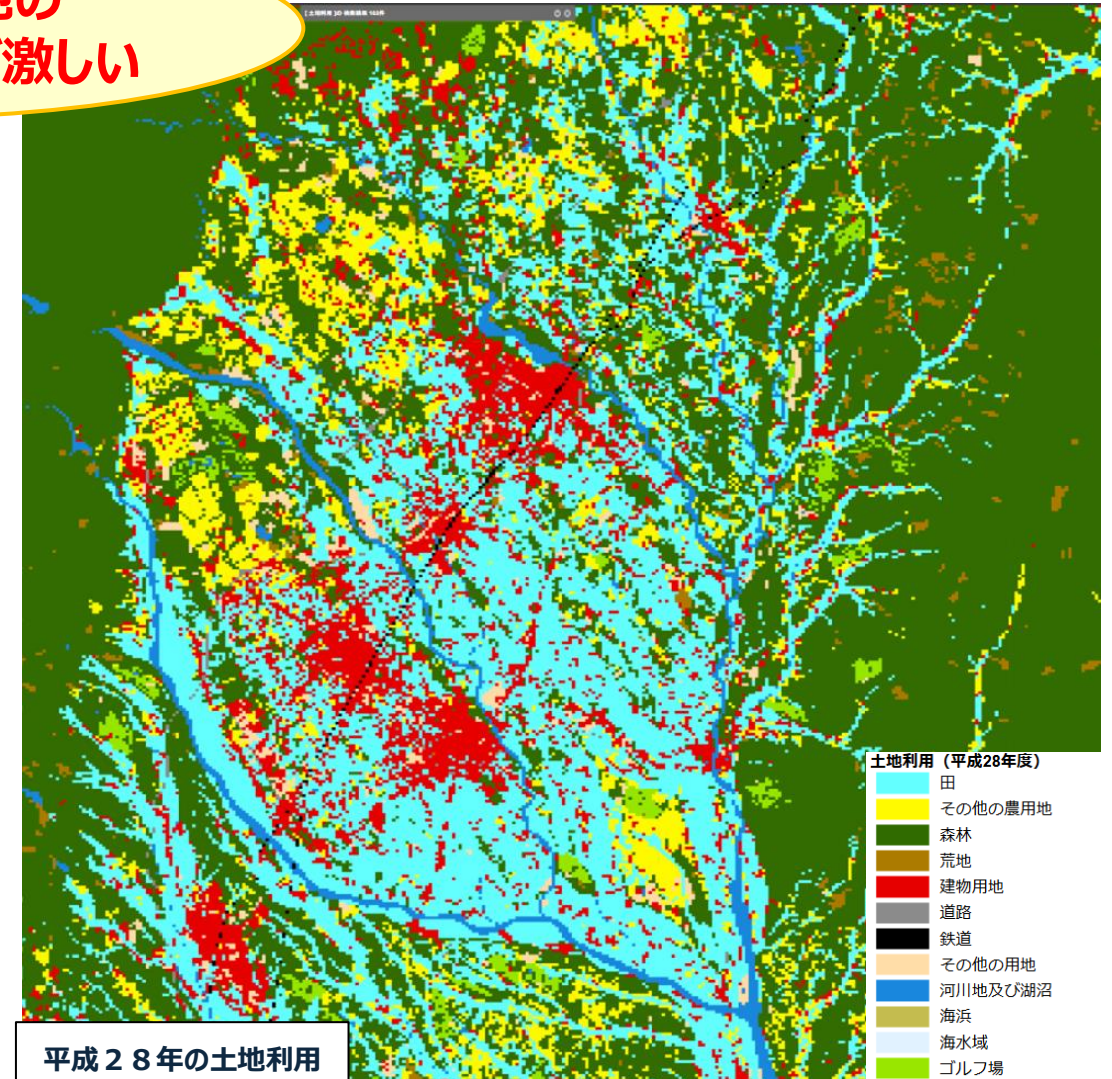


山地に比べ平地の
土地利用の変化が激しい



昭和51年の土地利用

40年で



平成28年の土地利用

広域的な連携の必要性

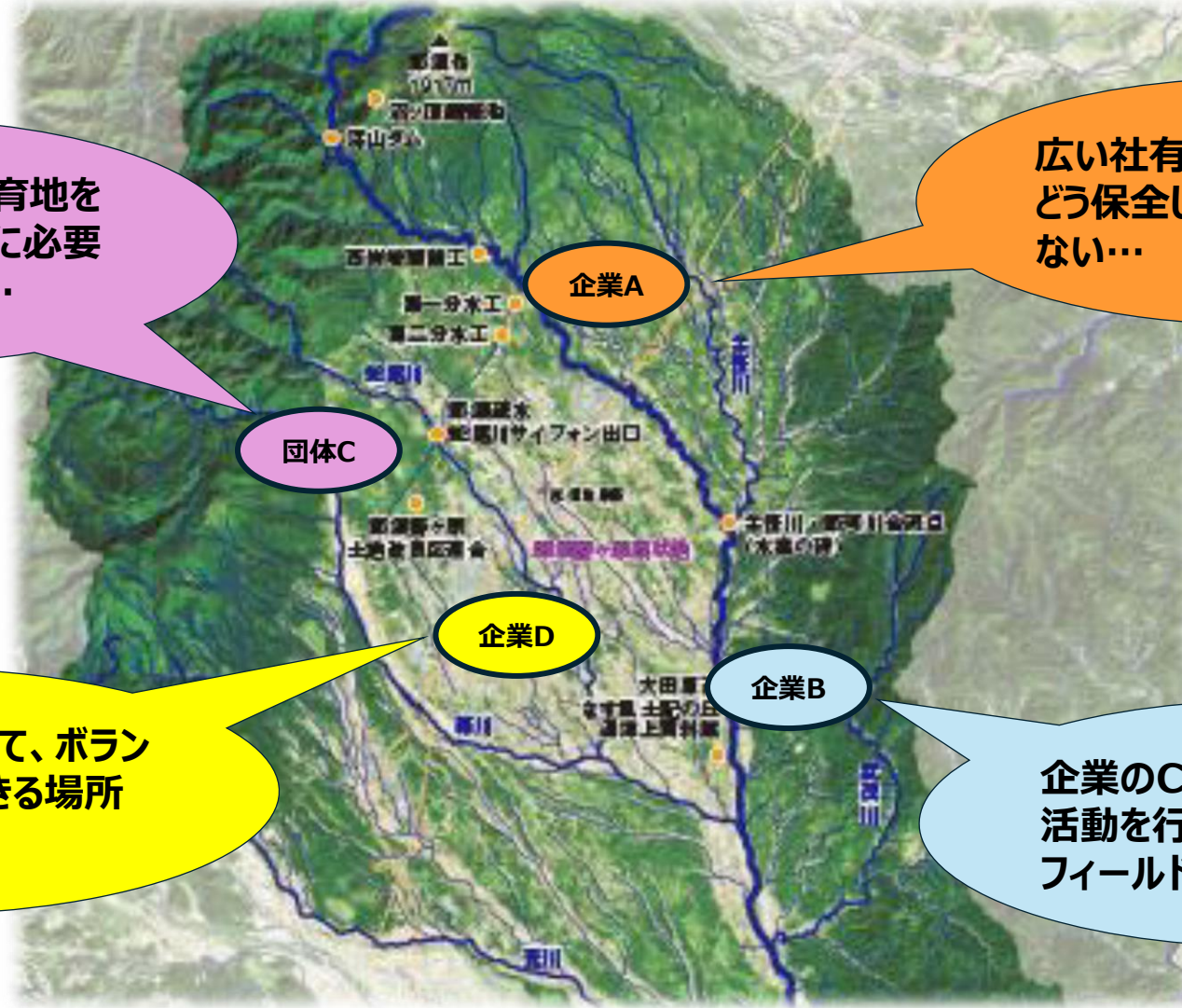


希少な野生植物の生育地を
所有しているが、保全に必要
な人手や資金がない…

広い社有林を持ってるけど、
どう保全したらよいか分から
ない…

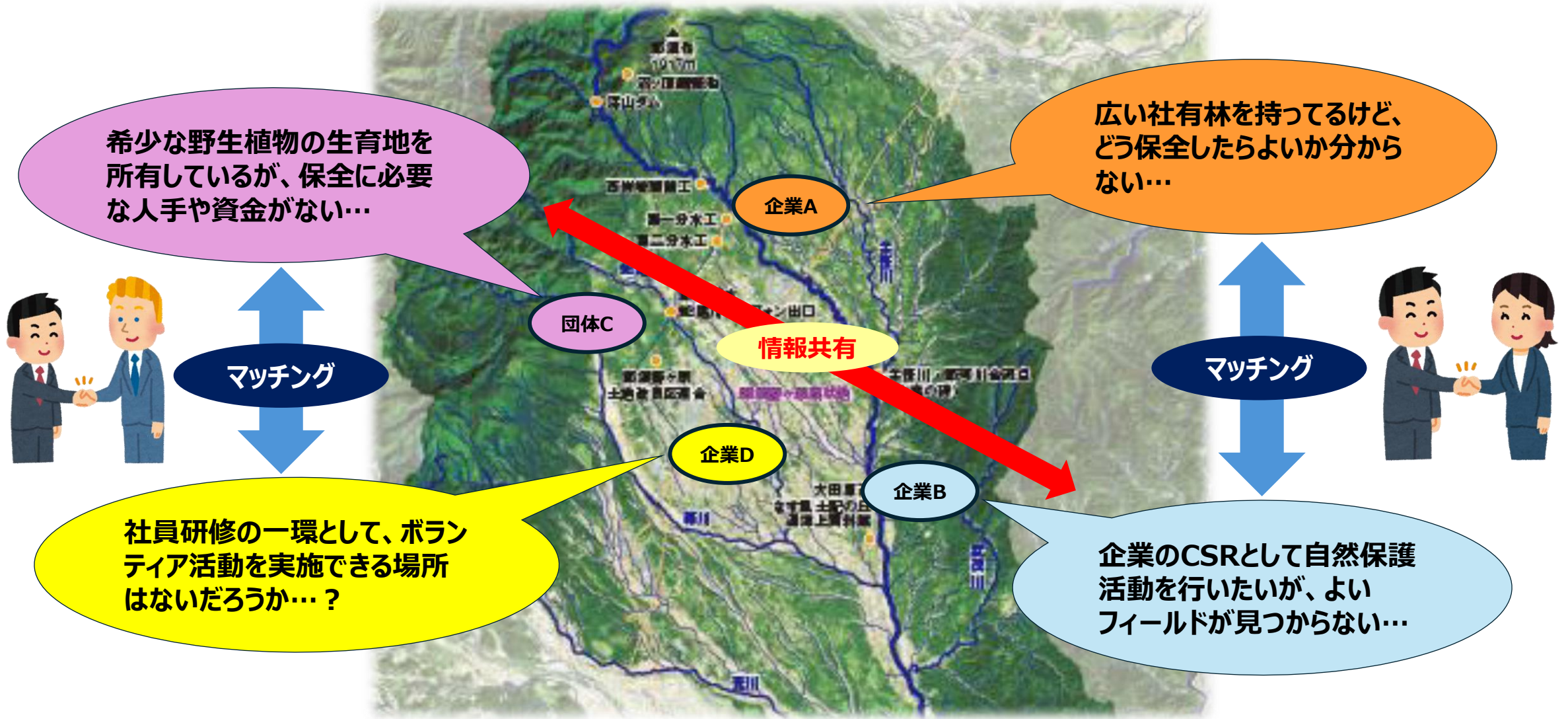
社員研修の一環として、ボラン
ティア活動を実施できる場所
はないだろうか…？

企業のCSRとして自然保護
活動を行いたいけど、よい
フィールドが見つからない…



那珂川流域の地図 出典：株式会社Mizkanホームページ「ミツカン水の文化センター」

広域的な連携の必要性



那珂川流域の地図 出典：株式会社Mizkanホームページ「ミツカン水の文化センター」

広域的な連携の必要性



那須野が原は、環境省により「**生物多様性保全上重要な里地里山**」に指定。

牧草地や水田など、平地林や屋敷林と農耕地がモザイク状に広がり、豊かな里地里山の生態系が形成・維持されている素晴らしいフィールド。

「那須野が原」をひとつの地形単位として、様々な主体が広域的に連携し、ネイチャーポジティブに資する取組を行うことが重要。



那珂川流域の地図 出典：株式会社Mizkanホームページ「ミツカン水の文化センター」

そのために必要な枠組みが...

那須野が原で

ネイチャーポジティブを目指す
アライアンス



生物多様性の損失を止め、回復に向かわせるため、市内外の民や官、団体や個人などの多様な主体が連携して、「意識を高めること」や「具体的な行動をすること」を、自ら行い、また支援する場とすること。



簡単に言うと…

**那須野が原のネイチャーポジティブ実現に
直接にでも 間接にでも 参加する場**

ひとりの力ではできないことを、多くの力が集まることで成し遂げる！

アライアンスに参加することによる効果



一言でいうと・・・

**アライアンスは
参加者の持続可能な将来を目指した取組を
あの手この手で支援します！**

だれが対象なの？

那須野が原に住む方、興味がある方、操業をされている方、取引先企業が立地しているという方など、個人、法人を問わず**どなたでもウェルカム！**

アライアンス参加のメリット

- ◎参加者が行う地域生物多様性増進活動への支援
- ◎参加者相互の連携による情報共有、情報交換等
- ◎自然共生サイト登録支援
- ◎参加者が行う地域生物多様性増進活動に関する広報



アライアンスに参加することによる効果



▼市のねらい

企業等による活動を「連携増進活動実施計画」に位置付け

将来的なメリットとして…

市が意見を聞きながら主体的に計画を作成 ⇒そこに乗られる（リーズナブル）

認定により、企業価値、土地の価値、取組の価値が上がる（ハッピー）

企業のPRに使える

国の交付金にも応募できるため、活動費の最大半額などが補助されうる

CSR

ESG



利益創出



国の交付金の活用
に向けた仲介
または申請の支援も！

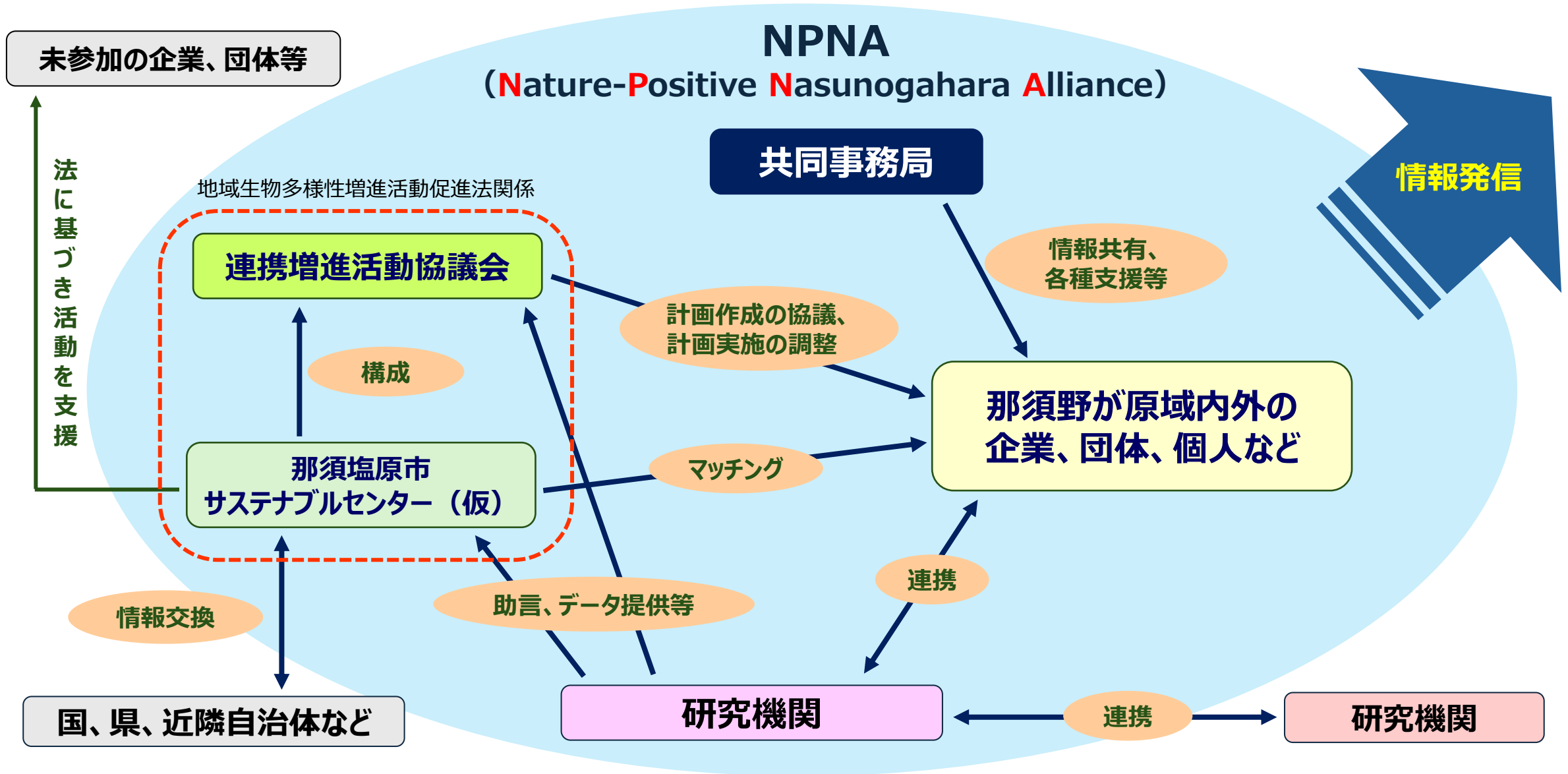
市が行う交付金事業
への参画も！



社有地や活動のフィールドが、世界的に認証された土地として登録

👉「ネイチャーポジティブへの貢献」という社会的な価値

ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンス スキーム案



那須塩原市は、企業の皆様からの 「企業版ふるさと納税」を募集しています！

- ★サステナブルな取組を、
市外の企業様からも寄附をいただきながら実施していきたい！
- ★市内に事業所がない企業様にも、
ぜひ社員研修や環境保全活動の場にしていただきたい！

企業版ふるさと納税という形で、ネイチャーポジティブの実現に向けて連携しませんか？



企業、環境ボランティア団体、市などが連携して実施した
シカ防除ネット設置作業（希少植物の食害対策）の様子